



平素は大変お世話になりまして、ありがとうございます。
 いよいよ梅雨を感じる季節となりましたが、この時期心配になるのは、台風や大雨ではないでしょうか。先日の台風2号も日本各地で影響を及ぼしました。そこで今回は、雨天時の運転について取り上げていきます。



雨天時の運転にお役立てください！

雨天時は、「スリップによる事故」が特に多く、首都高速道路株式会社によると晴天時の約4倍も事故が起こりやすくなっていることが判明しています。

次の表は、気象庁の「雨の強さと降り方」を抜粋したものです。よく天気予報で「1時間に○mm以上の雨が降るおそれがあります」等の言葉を耳にしませんか？といっても実際に雨の状況を見ないには想像がつきにくいかと思われまますので、運転への影響とあわせて参照していただければ幸いです。

●雨の強さと降り方

1時間雨量(mm)	予報用語	人の受けるイメージ	運転への影響
20~30	強い雨	どしゃ降り	ワイパーを速くしても前方が見づらい
30~50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	ブレーキが効きにくくなる
50~80	非常に激しい雨	滝のように降る	車の運転は危険
80~	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感 恐怖を感じる	

(気象庁 平成29年9月一部改訂)

●大雨に遭遇した時の対処法について

急ハンドル・急ブレーキは避け、車間距離をあけて、昼間でもヘッドライトはつけていただければと思います。前車がよく見えないほど雨が強い状態になると、運転自体がとても危険になります。車を路肩に寄せて停める際は、ハザードランプの点滅をお忘れなく！また、停車中は、テールランプを点けた状態で、ブレーキペダルを踏み続け、ブレーキランプの強い光で後続車の追突を防ぎましょう。

エンジンが停止しドアが開かなくなったら、シートベルトを外し、脱出用のハンマーを使い、窓を割って避難してください。ハンマーがない場合は、ヘッドレストを引き抜き金具のとがった部分で代用なさってください。また、車外に出る際は傘を畳んだまま杖のように地面を探り、足元の安全を確認しながら避難してください。

なお、ワイパーのゴムやタイヤの減り具合等といった車の点検もぜひなさってくださいね。



オンワード・マエノは、インスタグラムをはじめました！社内での出来事や、社員の日常のほか、お役立ち情報をアップしていきます。ぜひフォローよろしくお願いたします！